

Challenge Road

学校法人 トヨタ名古屋整備学園
 専門学校 トヨタ名古屋自動車大学校

〒452-8567 愛知県西春日井郡春日町落合一番割1
 TEL:052-400-3611 FAX:052-400-3615
 学校新聞編集局 発行責任者 池山 和徳

URL <http://www.toyota-tcn.ac.jp> E-mail gakuseibu@toyota-tcn.ac.jp



SINCE 1961

Vol.8

卒業式挙行

3月19日(水)平成19年度卒業式典を行いました。
 今年は、自動車整備科(2級コース)537名、高度自動車科(1級コース)35名が卒業証書を授与され、社会人として新たなスタートを切りました。卒業生のみなさんは晴れやかな笑顔の中にも緊張感をもって証書の授与に臨みました。
 当校は昨年4月から学校名を「専門学校 トヨタ名古屋自動車大学校」と変更したため、新しい学校名として最初の卒業生となり、卒業生総数は21,697名となりました。校長式辞をはじめ理事長挨拶、来賓祝辞などは、社会人となるに当たり大きな激励となりました。また、毎年恒例となっている教職員からのビデオレターが上映され、厳粛な式典の最後に和やかな空気を運びました。そして、今年の式典の締めくくりとして、卒業生全員が精一杯の声で「ありがとうございました」と挨拶し、保護者と教職員へ心からの感謝の気持ちを表現しました。卒業生退場では当校教職員が組んだバンド演奏が行われ、晴れやかな雰囲気を作り出していました。厳粛な中にも若さあふれる卒業式となり、ご来場された保護者、来賓の皆様も感極まる式典となりました。



入学式挙行

4月8日(火)、平成20年度入学式典を満開の桜のもと行いました。今年度は、自動車整備科505名、高度自動車科81名が入学、また高度自動車科3年に他校からの2名を含めて17名が編入学し、新たなスタートを切りました。「自動車整備士になる!」という強い気持ちを大切に、大きな夢に向かって頑張ってくださいと思います。



●新人職員紹介



きむら ゆきひさ
 >>> 教育部配属 **木村 亨央**
 はじめまして、今年度教育部1年エンジングループ配属となりました木村です。東海の地に住むことは初めてで、不安なこともありますが、明るく楽しく、時に厳しくをモットーに、力強く芽吹いて入学してきた皆さんが、色鮮やかな花となれるよう、目一杯尽力していくつもりです。ごじゃっべ(茨城弁)なわたくしですが、何卒よろしく願いいたします。



やまだ やすし
 >>> 教育部配属 **山田 泰史**
 みなさんはじめまして。今年の4月より教育部に配属になりました山田泰史です。教員としてのスタートに当たり、不安も多々ありますが、学生のみなさんと共に楽しく充実した学校生活を送っていきたくと思っています。分からないことばかりで色々ご迷惑をかけると思いますが、精一杯頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



みずたに あや
 >>> 教育部配属 **水谷 彩**
 みなさんこんにちは。教育部電子担当の水谷彩です。私はこの名古屋地区で22年間育ちました。そんな土地にあるトヨタ名古屋自動車大学校の教員に加わることができ嬉しく思います。唯一の女性教員ということもあり、ドキドキ感や不安を抱きながら毎日楽しく過ごしています。これからみなさんと一緒に頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

Meet the Teachers



ふかだ たくや
 >>> 教育部配属 **深田 卓也**
 2年生のガソリン・エンジン担当になりました、深田です。では、わたしの車歴を紹介いたします。最初の車が初代スープラでした。次が2代目カルディナで、初めてのニュー車でしたが1回目の車検と同時に2代目エスティマに乗り換え、今も乗り続けています。車好きの皆さんがより一層車好きになれるような教師になりたいと思います。



よこかわ るみこ
 >>> 学生部配属 **横川 留美子**
 はじめまして。4月から学生部配属になりました横川留美子です。お隣の三重県の出身です。今は入社して間もなくわからないことも多いのですが、この活気あるトヨタ名古屋自動車大学校で働けることをとても嬉しく思います。皆さんに負けたくない元氣いっぱい笑顔で頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



はまじま としひさ
 >>> 学生寮 びつといん21 寮監 **濱島 利久**
 4月から学生寮 びつといん21の寮監となりました濱島利久です。私は消防吏員を定年退職し第2の人生を迎えました。今後は、消防の仕事で培ったことを業務に生かし、そして明るく元氣な対応に努め、寮生の方々の支えとなれますよう尽力を重ね、組織の期待に応えたいと思っています。皆様方の温かいご指導をよろしくお願いいたします。

速報

今年の自動車整備士国家試験の結果をご報告いたします!

- 2級自動車整備士(579名合格/579名受験)----- **合格率100%!!**
- 1級小型自動車整備士 学科試験(34名合格/35名受験) **合格率97.1%!!**
学科試験合格者はこのあと口述試験を受験

国家1級自動車整備士のニーズが高まっています。

**高度自動車科
 定員を120名へ!**

卒業論文発表について

高度自動車科4年担当 菊田 直樹

高度自動車科4年生では毎年、卒業論文発表を実施しています。卒業論文発表とは学生自らが研究テーマを決め、これまで学んだ自動車の専門知識をベースに、1年かけて研究テーマを掘り下げ、様々な実験、調査から結論を導き、論文としてまとめ発表するものです。



ガイド付リフトによる安全作業の検証



エコランカーの走行

今年は、1チーム2~3名で合計12の研究テーマを取り上げました。内容は、整備作業の効率化、安全作業、交通安全、CS向上等の内容から、ガスタービンエンジンに関するもの、燃費改善、エコランカーの製作、バイオエタノール燃料など地球環境に関するものもありました。



室内騒音の測定



メモリーハイコーダーによる燃費測定



シートベルト装着率調査

学生にとって1年間の長期にわたり研究に取り組むことは初めての経験であり、研究の方向性の調整から、販売会社や街頭などでの検証データの取得、製作、論文作成などを自ら進捗状況を管理しながら計画的に実施していきました。時には放課後遅くまで作業することもありました。特に製作を伴う研究では、材料の選定から強度計算、図面作成、機械加工、溶接作業など、もの造りの基礎を学ぶ貴重な体験ができたと思います。

発表は1月16日(水)、1月17日(木)の2日間行われ、就職先の販売会社様はじめ、当校職員、高度自動車科3年生が聴講する中、学生自らの運営により実施され、各チームは緊張した面持ちで論文を発表しました。また、質疑応答では同席した高度自動車科3年生から鋭い質問が多く出され、次年度研究に取り組む3年生の意欲を強く感じることもできました。



卒業論文発表会の様子

卒業研究によって、全チームが限られた期間の中で自ら手法を考え粘り強く研究ができたことは、今後の社会人においても必ず実践で活かされる場面がくることでしょう。最後に、今回の卒業研究でお世話になりました販売会社様を始め関係各所の皆様には深くお礼申し上げます。

トヨタ サービス技術コンクール 全国大会出場卒業生紹介

高度自動車科3年生、4年生(計98名)は授業の一環として、また、自動車整備科・高度自動車科の1、2年生の希望者(計113名)はコンクールを見学させていただきました。

	故障診断競技			メンテナンス競技			ペイント競技		
	販 社	氏 名	卒 年	販 社	氏 名	卒 年	販 社	氏 名	卒 年
4/5(土)	C富山	大野 圭太さん	H11卒	C中京	堀切 晶さん	H13卒			
	C中京	北島 弘貴さん	H8卒	C三重	山下 界渡さん	H12卒			
	C愛媛	上甲 正司さん	H13卒	C岡山	山下 悟史さん	H16卒			
	C福岡	石丸 淳一さん	H10卒						
4/19(土)	C中京	堀切 晶さん	H13卒	T大分	佐藤 靖之さん	H11卒	T滋賀	高田 恭次さん	H6卒
	C三重	山下 界渡さん	H12卒						
	C岡山	山下 悟史さん	H16卒						

C:カローラ店 T:トヨタ店



学校の魅力 Appeal of School

富士スピードウェイ 安全運転講習

春休み初日の3月21日(金)~22日(土)にかけて、自動車整備科1年生20名、高度自動車科4名が参加し、1泊2日の日程で安全運転講習を行いました。

1日目は、あいおい保険自動車研修所 東富士センターの協力により、施設の見学をさせていただきました。

2日目は、富士スピードウェイ内にある、トヨタ交通安全センター(モビリティ)にて、トヨタドライバーコミュニケーション(安全運転トレーニング)を受講しました。富士の裾野に広がる、約10万m²の広大なコースで、「走る、曲がる、止まる」の基本を体験した上で、高速フルブレーキ、低μ路でのABSやVSC体験、35度バンクでの運転姿勢の確認など、日常では体験できない富士スピードウェイのサーキット体験走行などのプログラムを受講しました。

このようなトヨタグループのすばらしい施設を十分に活用し、どの学生も、皆、目を輝かせながら、安全かつスムーズなドライビングテクニックを、身に付けることができたと同時に、自動車の知識を深めることができ、意義深い研修となりました。



エンジン教材更新

TR型エンジンを40基、新たな教材として導入しました!
※教材は質・量ともに全国トップレベルです

TR型エンジン(1TR-F)とは

- ①水冷直列4気筒ガソリンエンジン
- ②搭載車種(ハイエースバン・ハイエース等)

長年1年生のエンジン教科でオール分解の教材として活躍したY型エンジンを、新型ハイエースに使用されている1TRエンジンに更新することになりました。この1TRエンジンはオール分解はもちろんのこと、新規の授業や課外授業などで活用していく予定です。今からどんな授業が展開できるのか期待が膨らみます。(なお、Y型エンジンは東海地区の一部の工業高校に寄贈させていただきました)



白川郷での研修実施!



今年で3年目となる一泊研修が行われ、新入生が岐阜県の世界遺産白川郷にある「トヨタ白川郷自然学校」に行ってきました。この学校は、手つかずになっていた白川村馬狩地区にトヨタ自動車が2005年に開校したもので、荒れた森の再生や自然との共存について体感することで自然と向き合い、エコの精神を高める目的で数々のプログラムを展開しています。当校もこの精神に賛同し、自動車業界を志した学生のエコに対する意識醸成に少しでも役立てばという考えから始めたものです。

OG紹介 今回は第一線で頑張る女性を紹介します。

Graduated Students

当校2007年卒で、トヨタカローラ博多株式会社様のサービスエンジニアとして活躍されている森口さんへ、トヨタ名古屋自動車大学校でのエピソードなどについて語っていただきました。



トヨタカローラ博多株式会社(豊前店)
森口 彩智恵 さん
(福岡県立築上中部高等学校:現 青豊高等学校卒)

●トヨタ名古屋自動車大学校でのエピソード

高校の先輩がトヨタ名古屋校に進学していたし、約半世紀の歴史や実績があったので、ここしかないと思って入学しました。父親が自動車関係の仕事をしていたのでクルマには幼い頃から興味がありました。ところで学生の頃は、日々のレポートや定期試験など大変でしたよ。でも私には頑張るきっかけがありました。自動車整備科1年生の学園祭の時です。整備コンクールという競技に参加し予選敗退。負けはしたものの仲間との達成感・チームワークの大切さを学びました。そしてこの瞬間、私の中のスイッチが入りました。2年生になったらリベンジすると。だから毎日の授業にも身が入りました。絶対に負けたくなかったから。その結果、翌年の整備コンクールでは準優勝を勝ち得ました。

人は明確な目標を持ち、それに向けて継続して努力をしていけば結果はおのずとついてくると思います。だから皆さんも目標に向けて頑張ってくださいね。



当校1999年卒で、トヨタカローラ博多株式会社様のサービスエンジニアとして活躍されている堀口さんへ、将来の夢などについて語っていただきました。



トヨタカローラ博多株式会社(若松店)
堀口 佳恵 さん(福岡県立若松高等学校卒)

●将来の夢など

進路を考えた時、大学が専門学校に行くか悩みました。だけど普通のOLにはなりたくなかったし、これからの時代は資格が絶対必要だと考え、トヨタ名古屋校に決めました。最初は両親が猛反対。でも最終的には「本人が決めたことだから」と私の意志を尊重してくれました。もちろん入学後は人一倍努力しましたよ。現在は、トヨタ技術検定1級を取得し最前線で頑張っています。今後、自動車は益々高度化していきますので日々勉強しています。お客様から信頼されるサービスエンジニアになりたいからもっと上を目指して頑張りたいです。



当校を1997年卒で、株式会社シイエム・シイ様のテクニカルライターとして活躍されている高須さんへ、トヨタ名古屋自動車大学校でのエピソードなどについて語っていただきました。



株式会社シイエム・シイ
高須 直美 さん(愛知県豊野高等学校卒)

●トヨタ名古屋自動車大学校でのエピソード

兄が車好きで影響を受けました。他メーカーの専門学校も含め複数受験しましたが、実習車の多さ、就職面などを考えた結果、最終的に(自宅からは一番遠かったけど)入学を決めました。学生時代の思い出は、夏休みを利用してのカナダ留学に参加したことです。英語と板金塗装とホームステイ、苦労も楽しさもたくさんありましたが、その分思い出もたくさんあり、今でも一緒に行った友達とカナダの話で盛り上がります。現在は、トヨタ自動車株式会社様の修理書を作成するテクニカルライターです。日々高度化する技術を、正確かつわかりやすい修理書にするために、勉強する毎日です。

学生の皆さんには、整備技術は問題ないと思うので、お客様と接する際のマナーなどを身に付けて欲しいと思います。あとは、私が学生だった頃から変わっていないはずの元気な挨拶で、先輩方に「私はトヨタ名古屋自動車大学校の出身者です」とアピールして下さい。



本取材ではお世話になりましたトヨタカローラ博多株式会社 清水様、株式会社シイエム・シイ 五十嵐様へ御礼申し上げます。

N EWS FILE

●女子奨学金制度新設! サービスエンジニア・サービススタッフを目指すあなたを積極的にバックアップ!

今年度実施の入試から、女子奨学金制度を新設します。この奨学金制度の特長は、

- ① 自動車整備科・高度自動車科の全入試が対象
 - ② 授業料 半額支給(2年次まで)
 - ③ 採用定員 10名
- など、メリットはいっぱいです!

現在、トヨタ自動車をはじめ、トヨタ系企業では、女子のサービスエンジニア・サービススタッフのニーズが大変高まっております。「サービスエンジニア」をはじめ、お客様に修理のご用命や整備のご説明をする「サービスアドバイザー」や、整備士としての知識を活かして自動車のマニュアルなどを編集する「テクニカルライター」など、幅広い分野で活躍しています。あなたも是非、自動車業界で活躍してみませんか。そんな女子の皆さんを当校は積極的にバックアップしていきます!



●Netz Cup Vitz Raceへ参戦 今年からVitzとともに走ります!

Netz Cupとは、2000年から始まったトヨタのワンメイク車両によるシリーズレースのこと。JAF公認レースとしては初のナンバー付車両によるレースとして開催。ネット店で販売中のヴィッツRS「TRDレーシング」と、A級ライセンス、情熱があれば、誰でも出場可能! 当校も今年から、教員がレーサー、学生がメカニックとして参戦! 君もレースデビューをしてみないか。



ブラジルとトヨタのあゆみ



Brazil & TOYOTA

在日ブラジル人コース開講9周年

1908年4月、日本人781名を乗せた「笠戸丸」が神戸港を出航。同年6月にブラジル・サントス港に入港し、日本人のブラジル移住がはじまりました。現在では140万人を有する世界最大の日系社会が築かれています。ちょうど100周年にあたる2008年を記念して、両国の文化や伝統を紹介する交流イベントが各地で開催されています。また、2008年はトヨタ自動車ブラジルに進出してから50周年になる節目の年です。当時、トヨタ自動車にとってブラジルは初の海外生産拠点でした。トヨタ自動車は1958年にサンパウロに進出し、59年から同市郊外でトラックの生産を開始。98年にはカロラの生産を本格的に始め、昨年からバイオエタノール100%の燃料を使えるトヨタ初の「フレックス車」の生産にも乗り出しています。さらに、トヨタ自動車は1999年より社会貢献活動の一貫として当校(付帯事業)にて、在日ブラジル人コース(1年課程)を行っています。在日ブラジル人の子弟を対象(ポルトガル語による授業)とし、実践力を身につけたエンジニアを育成し、修了後は修得した自動車整備の技術と知識を本国ブラジルで発揮することを期待したものです。既に8期生までで合計161名がこのコースを修了しました。現在9期生20名が新たにエンジニアを目指してスタートを切っています。このように、今年、日本人のブラジル移民100周年、トヨタ自動車のブラジル進出50周年、トヨタ自動車の在日ブラジル人コース開講9周年を迎えますが、これからも益々両国の関係は重要なものとなっていきます。トヨタ自動車にとってもブラジルは「将来のトヨタを支える原動力」として大切にしていってほしい国なのです。



●インストラクター
イトウ ミゲル



●アシスタント インストラクター
ミスナガ ヒデキ

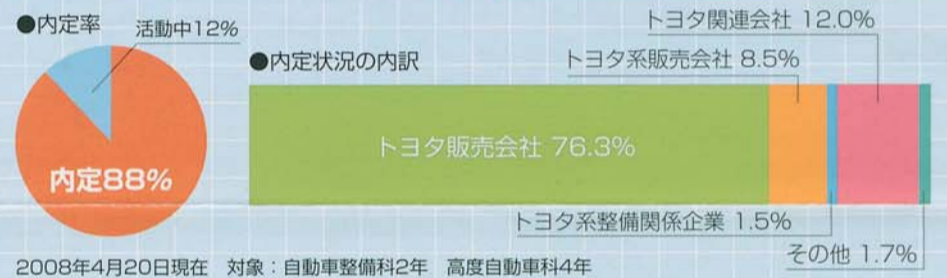


在日ブラジル人コースを展開するトヨタ自動車 社会貢献推進部。社会貢献推進部 田中均部長(中央) 当校にて。



就職相談室だより

現在の就職状況の報告をさせていただきます。
この春、2008年3月の卒業生達は各々新天地へ羽ばたいていきました。就職企業様の内訳は約97%がトヨタ販売会社様を主としたトヨタグループ企業となりました。卒業生の皆さんのスムーズな新社会人生活のスタートと今後益々の活躍を祈っております。
さて、在学生では2009年3月卒生の就職試験が、早い時期では2月初旬から実施されており、4月20日現在、内定率は88%と比較的順調な滑り出しになっています。学生諸君の就職活動の頑張り、当然のことながら求人いただき、内定いただきました、各企業様から積極的な求人を頂いておりますが、学生達も自らの実力や魅力を身につけ、発揮できれば就職内定も希望通りにはなりません。
このような状況の中、我々教職員は今後も全力をあげて就職のサポートをしていきます。また、引き続きの皆様方のご支援をいただきますよう、よろしくお願い致します。



中学生講座

3月8日(土)、地元春日中学校2年生の男女18名を対象に「自動車が止まるしくみ」をテーマに体験講座を開きました。この講座は、当校の施設等を活用して中学生の理科に対する興味を喚起したいとの思いから、今回初めて取り組んだものです。内容は、ブレーキに使われている、この原理を実験を通じて確認したり、滑り易い路面でのABS同乗体験など、理科で習う事柄が実社会にどのように活かされているかを体感するものとしました。中学生達は、体験する度に「へー、そうだったのか」と驚き、楽しく学んでいました。また、帰りには「次も講座に参加します」と約束して学校を後にしました。



トヨタ・パブリカを寄贈していただきました!

豊橋市のリサイクル事業者、吉田商会様より1968年式のパブリカ(UP20)を寄贈していただきました。取引先で長年放置されていたため、ボディはあちこちが錆びて穴が開いている痛々しい状態。当校では、これまでレストア(修復)に取り組んだ経験はありませんが、幅広い知識を持ったエンジニアを育成するためにもチャレンジすることにしました。パブリカは、当校設立時(1961年)に発売された小型大衆車。当校と同じ歴史と時間を過ごしており、当校にとっては正にシンボリックな自動車と言えます。今後は自動車部のメンバーなどを中心に、このパブリカを分解しながら状態の確認を行い、どのような部品や作業が必要かなどを検討し作業を進めていきます。当然、最終的にはナンバーの取得を目指していきます。ご期待ください。



Information

2009年4月入学生募集

全員が学科、実習とも基礎から学べるため、無理のないステップアップが可能に。誰でも「自動車整備」のスペシャリストをめざすことができます。自動車に関する専門技術教育と企業ニーズにあった職業教育をおこなっています。



オープンキャンパス

- | | |
|----------|----------|
| ◆授業見学会 | ◆体験入学 |
| 5月24日(土) | 8月2日(土) |
| 6月7日(土) | 8月3日(日) |
| 6月21日(土) | 8月7日(木) |
| 7月19日(土) | 8月23日(土) |
| 7月23日(水) | |
| ◆学校見学会 | ◆入試説明会 |
| 7月26日(土) | 9月13日(土) |
| 7月27日(日) | 9月20日(土) |
| 7月31日(木) | 9月27日(土) |
| 8月17日(日) | |
| 8月30日(土) | |
| 9月6日(土) | |

見学随時
受付中



今後のおもなスケジュール

- ◆アメリカ研修 5月26日(月)～6月3日(火)
- ◆学校内防災訓練 6月4日(水)
- ◆就職セミナー 7月2日(水)
- ◆夏休み 7月26日(土)～8月25日(月)
- ◆カナダ留学 7月27日(日)～8月24日(日)

5/24(土)

授業見学会開催!! (川嶋あいさんトークライブも同日開催)



川嶋あいさん

授業見学会
10:00～15:00

- ◆内容
- 学生との川嶋あいトークライブ見学
 - 学校概要説明
 - 昼食
 - 授業見学
 - 個別相談 など

※川嶋あいさんトークライブのみの参加はご遠慮ください。

◆ラジオ番組をビシッとオンエア中!
〔東海地区限定:ZIP-FM(77.8MHz)にて〕

毎週火曜日 PM9:40～PM9:45
番組名「TECHNICAL MASTER」
当校の情報や自動車整備の情報が満載です!
是非聴いてみて下さいね!

川嶋あい「On The Street」
(ラジオ番組)も番組提供中!
東海ラジオ放送、岐阜放送、静岡放送、
北陸放送、RKB毎日放送にて放送中!!